

2020年5月1日現在

○オンライン授業についてのQ & A

4月18日から学生の皆さんを対象に行った「オンライン授業に関するネットワーク環境のアンケート」で寄せられた内容のうち、他の皆様にも参考になるものをQ & A形式でまとめました。皆様の参考の一助になれば幸いです。

オンライン授業の方法等

Q オンライン授業をどんな方法で行うのかわからない。

A オンライン授業として、皆様がイメージするのは、予備校で行われているようなリアルタイムの教室LIVE配信授業を想像する方も多いと思います。本学の場合、1) 元々通学型授業の大学で教室に配信を前提とした設備がないこと、2) 緊急事態宣言により教職員の大学出勤も8割減を求められていること等により、特に大人数講義科目での教室LIVE配信授業は、ほぼ想定をしていません。

具体的には、オンデマンド型（資料や動画を配信する形）、双方向オンライン型（リアルタイムのオンライン授業）、両者の併用型という形式で進めます。

Q 個別の授業をどんなやり方でやるのかわからない。

A どのやり方で授業が行われるかは、授業の担当教員がどの方法を採用して授業を行うかによって異なります。

「駿河台大学共通利用 e-ラーニングシステム Moodle（ムードル）」という本学の授業支援システムがあります。受講したい科目の Moodle の各科目ページの上部（「一般」セクション）にその授業がどのやり方でオンライン授業を行うのかを記載することになっています。

「一般」セクションには、1) オンライン授業の進め方：オンデマンド型か双方向オンライン型か併用型か、2) オンライン授業を受講するための準備物、3) オンライン授業にあたってのシラバス変更事項等が掲載されます。

Q オンライン授業は決められた時間に受けるのか。

A オンデマンド型の場合、特定の時間に拘束されず、自分の好きな時に Moodle にアクセスして受講します。

また、双方向オンライン型の場合、時間割表に定められた曜日時限で受講します。学生の皆様も担当教員も複数の授業を受講・教授しているためです。

Q 出席はどのように取るのか、どのように確認するのか。

A 授業によって出席の取り方は異なりますので、Moodle の授業の説明をよく確認した上で、分からなければ担当教員に質問してください。

オンデマンド型の場合、リアクションペーパーや小テスト、課題の提出等が想定されます。また、双方向オンライン型の場合、授業時間中に教員が直接確認する、メールによる課題提出等が想定されます。

Q 実技、実習科目のオンライン授業は何をやるのかわからず不安だ。

A 現段階では、当面5回分のオンライン授業では理論面（例えば、保健体育であれば保健理論の部分等）を中心に進めます。

機器・環境について

Q スマートフォンしか持っていませんがオンライン授業を受講できますか？

A 本学では授業ツールとして主にオンデマンド型の授業を受講するための Moodle（ムードル）と双方向オンライン型の授業を受講するための Google Meet（グーグル ミート）の2種類を推奨しています。

Moodle の場合、パソコン、タブレット端末、スマートフォンいずれの場合でも使用することができます。Moodle のモバイルアプリを取得することで、スマートフォンで動画や資料を見ることは可能です。授業のレジュメや資料には PDF というファイルがよく使用されるので、Adobe Acrobat Reader というアプリの利用をお勧めします。また、レポートの作成等でワープロソフトの Word（ワード）、表計算ソフトの Excel（エクセル）、プレゼンソフトの PowerPoint（パワーポイント）が必要になる場合があります。

オンライン授業を受けるための準備に記載のとおり、Office 365 ProPlus を予めインストール（駿大生は無料）しておいてください。

Google Meet の場合もパソコン、タブレット端末、スマートフォンいずれの場合でも使用することができますが、駿大生が Gmail 等使用している G Suite（ジースイート）の設定が必要です。

パソコンの場合、Google Chrome での利用を推奨します。

ダウンロードサイト：https://www.google.com/intl/ja_jp/chrome/

また、タブレット端末、スマートフォンの場合、専用のアプリがあります。

Q スマートフォン（タブレット端末）にマイクやカメラがついているかわからない。

A スマートフォンであれば、電話をしたり（＝マイク機能）、写真を撮ったり（＝映像機能）する機能がついているはずですので、スマートフォンを持っていれば、双方向オンライン授業を受講することができます。タブレット端末も、多くの場合、カメラとマイクはついています。

Q パソコンにマイクやカメラがついているかわからない。

A パソコンの場合には、マイク機能やカメラ機能がついていないものもあります。モバイル型やノート型のパソコンであれば、ついているものも多いですが、デスクトップ型のパソコンはついていないものも多いです。パソコンのスクリーンにカメラレンズや音声拾うための穴が見られないものはマイク機能やカメラ機能がない可能性が高いです。

別にスマートフォンやタブレット端末を持っていれば、そちらで双方向オンライン型授業を受講することをお勧めします。

「マイク機能」や「カメラ機能」がついていないパソコンでも Meet 授業に接続することは可能ですので、そのためだけに新しいパソコンを購入する必要はありません。なお、パソコンにマイクやカメラが付いていないことは担当教員に伝えておく方が良いでしょう。

Q スマートフォンを持っているがパソコンは持っていない。買った方がいいか。

A スマートフォンを持っていれば、ソフトやアプリを追加することでオンライン授業を受講することが出来ます。もちろん、パソコンの方が画面は大きいですし、機能も沢山ありますからあれば便利ですが、現在、オンライン授業や在宅勤務等の需要で一部パソコンの品薄も生じていますし、アルバイトが出来ない等の経済的な理由もあるでしょうから、このためだけに新しいパソコンを購入する優先度は低いと思います。

Q パソコンやスマートフォンはあるがプリンターは持っていない。買った方がいいか。

A パソコンやスマートフォンを持っていれば、ソフトやアプリを追加することでオンライン授業を受講することが出来ます。もちろん、プリンターがあれば資料を印刷することが出来ますのであれば便利ですが、現在、オンライン授業や在宅勤務等の需要で一部プリンターの品薄も生じていますし、アルバイトが出来ない等の経済的な理由もあるでしょうから、このためだけに新しくプリンターを購入する優先度は低いと思います。

なお、コンビニ印刷等の手段も考えられますが、新型コロナウイルス感染拡大の抑制の観点からお勧めしません。自分や周りの安全確保を優先しましょう。

Q スマートフォンの通信量は必要最低限なので、オンライン授業に当たって量が足りるか不安です。

A オンライン授業を受けるためには、オンライン授業に必要なネット環境があった方が良いでしょう。インターネットやスマートフォンのデータ通信量を確認しておきましょう。「ギガ不足」になると資料や動画が閲覧できなくなります。余裕があれば、十分なデータ通信量又は無制限のネット環境を引くことをお勧めします。

また、NTT ドコモ、KDDI、ソフトバンク、UQ コミュニケーションズは 25 歳以下向け支援措置を発表しています。詳しくは各社のホームページで確認してください。

これらはいずれも教育における学生の通信環境の確保等のための支援措置になります。学習目的での利用に限って使用するように願います。

NTT ドコモ

https://www.nttdocomo.co.jp/info/notice/page/200403_00.html

KDDI

<https://news.kddi.com/kddi/corporate/newsrelease/2020/04/03/4364.html>

ソフトバンク

https://www.softbank.jp/corp/news/info/2020/20200403_01/

UQ コミュニケーションズ

https://www.uqwimax.jp/annai/news_release/202004061.html

Q パソコンやプリンターがないので大学内のPCエリアや教室を使用したい。

A 現在、緊急事態宣言が全国的に5月6日まで出ており、外出の自粛が求められています。このような状況の中、本学では、感染拡大の抑制と皆様の安全の確保が必要との判断からオンラインガイドランスやオンライン授業を実施し、学内入構制限についても5月末日まで再延長しました。お気持ちはわかりますが、感染拡大の抑制や安全の確保面からの決定ですので、ご理解ください。

Q パソコン、スマートフォン等何も持っていない。

A 今回のアンケート回答で何も持っていない方達がおられることがわかりました。本日の発表には間に合いませんが、支援策を検討しています。

Q 授業の際に回線状況が悪く、途中で切れたり、接続できなかった場合 ① 双方向オンライン型 出席はどうなるのか

A 先生方には、リアルタイムの授業時における回線トラブルや学生の通信環境の問題により途中で中断してしまう学生が発生した場合には可能な範囲で対処をお願いしていますので、担当教員に申し出てください。

なお、双方向オンライン型のツールである Google Meet は Google 社のシステムを使用していますので、本学のサーバよりも良い環境です。

Q 授業の際に回線状況が悪く、途中で切れたり、接続できなかった場合 ② 双方向オンライン型 動画を提供して欲しい

A 大学としては、録画ファイルは容量が大きいため、録画ファイルを Moodle 上にあげ直す処置は通信環境エラーへの対処として先生方にお勧めをしていません。担当教員の判断によりますが、レジュメや資料の提示、容量が軽い音声ファイル等を想定しています。

Q 授業の際に回線状況が悪く、途中で切れたり、接続できなかった場合 ③ 双方向オンライン型 録画した動画を接続できなかった友人に提供したい

A 著作権許諾等の問題もあり得ますので、学生同士のやり取りではなく接続できなかった友人から担当教員に申し出るよう伝えてください。

Q 授業の際に回線状況が悪く、途中で切れたり、接続できなかった場合 ④ オンデマンド型 資料動画の途中で通信が切れたため視聴出来なかった場合

A オンデマンド型の場合、特定の日時に視聴する必要はありませんので、まずは視聴する時間を変える等で対応してください。

Q 授業の際に回線状況が悪く、途中で切れたり、接続できなかった場合 ⑤ オンデマンド型 通信トラブルで課題、小テストが提出できなかった

A オンデマンド型の場合、課題等の有無は早めに確認をするようにしましょう。ご自身で容量制限のあるポケット Wi-Fi しか持っておらず、接続状況に不安があるという自覚があるのであれば、期限ぎりぎりの提出ではなく、期間に余裕をもって提出しましょう。また、担当教員には自身の状況をきちんと説明して指示を受けてください。

Q 回線状況に不安がある。何か工夫をしてくれるのか

A 担当教員には、学生の通信料負担もあることから、例えば、画質調整等による教材の低容量化や、テキストや画像、掲示板機能の活用等、比較的通信料が少ない情報の利用、オンデマンド型授業における配信頻度（1回の提示で2回分行く）の調整等、学生の通信環境や通信料への配慮をお願いしています。

Q サーバ落ち、サーバダウンしないか不安です。

A 4月中にサーバ容量を増やす対応を取るとともに、前記の学生の通信料負担への配慮が本学サーバへの負担軽減に繋がっています。オンラインガイダンス期間や授業開始後の状況を確認して、特定の時間帯にアクセスが集中するような事態が生じている場合、協力をお願いする場合があります。

ツール、アプリケーション

Q Moodle の各科目ページの上部（「一般」セクション）を見ても何も記入がない

A Moodle は5月1日（金）から皆様に公開しますが、授業担当教員も同時進行で作業を行っていますので、しばらくお待ちください。

Q Moodle のマニュアルについて確認したい

A 以下の「オンライン授業受講マニュアル」から確認できます。

<https://edu.surugadai.ac.jp/course/view.php?id=54>

Q レポート、課題、リアクションペーパー、小テストの提出方法はどうか

A オンデマンド型授業で使用する Moodle にはこれらの提出機能が備わっています。また、担当教員や授業の形態により、メールでのやり取りやポタロウの機能等を使用する場合もあります。

Q 双方向授業で自宅、部屋が映るのか、生活音は聞かれないか

A Google Meet の場合、教員から指示がない限り、学生のカメラ機能やマイク機能は OFF にしておいてください。

特にマイク機能については、発言者以外は OFF の状態を継続してください。

基本情報・関連日程

Q 登校が出来ない中で情報を得る方法がわからない

A 大学から在学生の皆様へのお知らせは、ポタロウ（ポータルサイト）という Web サービスを使用しています。お知らせだけではなく、授業支援システム Moodle の入り口や、授業の履修登録にも使用しますので、これらのシステムを使用できる ID、パスワードを確認しましょう。

新入生、新編入学生の皆様には保証人様宛に4月11日（土）に書留郵送しています。また、在学生の皆様で自分の ID、パスワードがわからなくなり、ポタロウにログインできない場合には ID 再発行の手続きが必要です。情報システム課宛に申し出てください。

Q ガイダンス期間や方法がわからない

A 大変遅くなりましたが、4月28日付のホームページで「緊急事態宣言を受けての行事日程及び授業の進め方について」を掲載いたしましたのでご確認ください。

<https://www.surugadai.ac.jp/news/2020/2020428-1.html>

また、ガイダンスの方法は、オンデマンド型（資料を配信する形）になります。オンラインガイダンス期間内（資料配信型ですので、特定の日時に拘束されません）に、行事予定表に記載された場所に掲出している資料を確認、よく理解してください。

Q 授業の開始日がわからない

A 4月10日付のホームページでご案内したとおり、授業の配信開始は5月13日（水）からとします。

Q 授業のこと以外の相談がしたいが、大学は入構制限中だ。どうしたらよいか。

A 大学ホームページ「重要なお知らせ」に入構制限中の大学の対応について、様々な窓口への問い合わせ先の情報があります。そちらを確認し、まずはメールまたは電話で問い合わせてください。（電話対応は日・祝を除く10時～17時）

Q レポート、課題が多くなりそう

A 本来半期15週のところ、新型コロナウイルス感染拡大の抑制のため、学年暦を13週に短縮していますが、15週相当分の授業内容を行うこととされていますので、2週分はレポート課題等、適宜の方法で行うことになります。

Q 当面5回程度としているが、感染が落ち着いているのか不安だ。春学期全てがオンライン授業になる可能性があるのか。

A 新型コロナウイルスの感染拡大状況や、政府、自治体の対応等社会の状況により、オンライン授業が継続されるか、対面式の授業に切り替わるかが決まります。